

住民税非課税世帯支援給付金追加交付事業、灯油購入費等助成金事業、低所得子育て世帯加算給付金追加交付事業のお知らせ

問 福祉課 福祉総務班 ☎ 32 - 3041

エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担の軽減を図るため、低所得世帯を対象に次のとおり、給付金を支給します。

▶ 支給対象世帯

- ①住民税非課税世帯支援給付金（追加支給分） ②灯油購入費等助成金
…基準日（令和6年12月13日）において、にかほ市に住民登録があり、世帯全員の令和6年度住民税均等割が非課税である世帯
- ③低所得子育て世帯加算給付金（追加支給分）
…①および②の対象世帯のうち、基準日（令和6年12月13日）において、支給対象者と同一世帯となっている18歳以下の児童（住民票を移さずに施設入所している児童は除く）がいる世帯
※12月14日以降に生まれた新生児も対象となります。

▶ 支給金額

- ①1世帯あたり **30,000** 円 ②1世帯あたり **6,000** 円 ③対象児童1人あたり **20,000** 円

▶ 申請手続き・申請期限

対象世帯のうち、過去の給付金支給口座・公金受取口座情報を福祉課で保有済みの世帯へは、2月上旬から順次通知を送付しています。内容を確認し、手続きが必要な場合は **2月14日** (金) まで、給付金コールセンターにご連絡ください。上記以外を対象世帯へは、2月上旬から順次申請書類を送付しています。必要事項を記入のうえ、**3月14日** (金) (消印有効) までに同封の返信用封筒にて福祉課に郵送するか、福祉課・金浦市民サービスセンター・税務課市民サービス班のいずれかの窓口へ提出ください。

▶ 支給方法・支給時期

給付金は、原則世帯主の口座に振り込みます。支給時期については、審査終了後に文書でお知らせします。審査の結果、不支給となる場合もあります。

介護保険事業の市単独化について

問 長寿支援課 ☎ 32 - 3042

介護保険の保険者事務は、平成12年4月の介護保険制度開始当時から本荘由利広域市町村圏組合が担っていましたが、市町村合併により、組合の構成も1市10町から2市へ変わったことで、組合の共同処理事務のメリットが薄れたことから、令和7年4月からは介護保険の保険者事務を、にかほ市・由利本荘市それぞれの市へ移管することとしました。

保険者が広域組合からにかほ市へ変わっても、被保険者証や負担割合証および負担限度額認定証はそのまま使用できます。また、介護保険料や介護サービス利用料なども変更ありません。介護保険に関する窓口も変更ありませんので、今までどおりご相談ください。

令和7年度にかほ市奨学生募集(追加募集)

問 教育総務課 ☎ 38 - 2259

- ▶ 対 象 ・ 高等学校または同程度以上の学校に進学・在学する方
・ 品行方正で学業成績に優れた方
・ にかほ市民の子（1年以上在住）である方
・ 学資金の支払いが困難な方
- ▶ 月額奨学金 ・ 高等学校、高等専門学校（1～3学年）…月額3万円以内
・ 短期大学、専門学校、大学、大学院…月額5万円以内
- ▶ 入学一時金 ・ 高等学校、高等専門学校…10万円以内
・ 短期大学、専門学校、大学、大学院…30万円以内
- ▶ 貸 与 期 間 奨学金を受けるに至った月から、進学・在学する学校における正規の修学期間
- ▶ 返 還 方 法 卒業の6カ月後から、貸与期間の3倍の期間内で返還（無利息）

- ▶ 貸与開始 5月下旬（予定）
- ▶ 申請期限 **3月31日** (月)



※申請書類は教育総務課、市民課市民サービス班、金浦市民サービスセンター、税務課市民サービス班に備え付けてあります。

誰もが**平等**に**未来**を語る場

にかほ市 Nikaho Roundtable vol.1

若者円卓会議

問 総合政策課 連携推進班 ☎ 43 - 7510

来るべき未来のために
自ら考え動く

昨年11月、にかほ市若者円卓会議がスタートしました。

「あれ？『若者100人会議』ってあったよね？」と思ったそのあな、かなりの市政マニアですね！2021年に始動した100人会議は、若者が市の課題解決のための企画を市に提案して実施を目指す活動を行っていました。そこから生まれた事業として、市内3中学校の総合的な学習の時間で地域と多様な生き方を知る郷土キャリア教育を実施しています。

その生まれ変わりが「にかほ市若者円卓会議」で、より意義深い活動にしようと思始動しました。

現在、「子育てしやすいまち」「若者のネットワーク」「福祉」「多様性理解」などのテーマに約20人のメンバーで取り組んでいます。例えば「子育てしやすいまち」部会では、市の子育て施策をアップデートすることを目的に、他地域の施策や過去のアンケート結果、国の調査統計データから社会動向を客観的に分析するほか、経験談や現場の声を交えながら必要なことを話し合っています。

円卓会議の議論は、にかほ市の人口推計をもとに将来を想像することから始めています。予測では205

0年にかほ市の人口は半減します。そのとき暮らしはどう変わるのか、誰にも正解がわからない（未来）を想像するのは簡単なことではありません。しかし、来るべき（来てほしい）未来のために自ら考え動き続けることが、豊かな暮らしに繋がると思っています。

目指すのは18世紀イギリスのコーヒーハウス。（当時は女人禁制だったようですが、そこは完全無視）身分や立場に関係なく議論を交わし、新聞・郵便・保険などの仕組みを生み、社会の流れを作ったそうです。21世紀においてもなお自分の意見を話すことは容易ではありません。強

靱な精神や慣れがないと同調圧力に潰されてしまいます。しかし誰もが意見をもち、思いを話せる社会にこそ、前向きな未来が待っていると思います。円卓会議のメンバーは年齢も出身も職業もさまざま。その名の通り、誰もが当事者として立場や所属に縛られず、安心して意見を言え、思いを実現できる環境を作りたいと思っています。

わたしたちの暮らすにかほ市をどんなまちにしたいか、どんなまちになってほしいか、ともに考え語る仲間をいつでも歓迎します。そして今後も『広報にかほ』で活動を紹介していきますので、ぜひ円卓会議をあたたく見守ってください。



地域プロジェクトマネージャー
國重 咲季 くにしげ さき
京都府出身。令和元年から地域おこし協力隊として旧上郷小学校利活用事業に携わるためにかほ市に移住。令和6年8月から地域プロジェクトマネージャーとして円卓会議や集落支援等のコミュニティづくりを担当する。

昨年8月末、地域プロジェクトマネージャーに就任しました。プロジェクトマネージャーとはなんぞや。わたしもそう思っていたが、最近ようやくわかってきた気がしています。

周囲と協力して何かを変えていこう、良くしようとするには特別な動力が必要です。だから、新たなことを始めようとするのが敬遠されることも。それでも未来のために動き出すとき、それを成功に導くために関係者とうまくコミュニケーションをとって、うまく舵を取る…それがプロジェクトマネージャーの責務だと思っています。

わたしに与えられたプロジェクトの一つが「円卓会議」。若者が豊かな未来を自分たちの手で築くため、そして新たなコミュニティづくりのための挑戦を成功に導いていきたいと思っています。

※円卓会議の委員を随時募集しています。右のQRコードから公式LINEに登録し、ご連絡ください。

